

JICA 国際協力出前講座「国際協力と関わって」

10月21日(水)に、国際協力や国際理解を深めるための学習として、海外でボランティア経験のある講師を学校にお招きしました。国際支援の内容や国際協力の活動で得た経験、海外で活躍するグローバルな人材に必要な心構えなどについて講話を聞きました。講師の話真剣な姿勢で聞き、クイズや話し合い活動など積極的に取り組むことができました。



☆ 講演会の感想

「何かしなくちゃいけない」じゃなくて、自分から積極的にやるのが大切ということ学びました。丹羽さんが言っていた「自分たちが動けば、苦しんでいる人達を助けられるかもしれない」がとても心に残っています。苦しんでいる人をなくすため、自分たちにできることを探し、実行していきたいと思います。

日本の常識が世界では普通ではないことが分かった。何も動かずに見ているだけではなく、行動しなければならなかった。世界には色々な問題があることが分かった。世界中を旅したいと思いました。

丹羽さんはとても説明することが上手で楽しかったです。実際にインドネシアで生活した体験談から、沢山のことを学ぶことができました。「国際協力」は、「寄り添うところ」が大切だということで、世界の力に私もなりたいたいと思いました。これからは世界のために沢山行動していきたいです。

JICAの活動についてよく分かりました。また、インドネシアと日本の文化や服、料理の違いの面白さもよく分かりました。これからは、日本の当たり前が世界の当たり前ではないことを理解し、相手に寄り添って、今私にできることをやっいていこうと思います。

丹羽さんが「世界は広い」と言った言葉がとても心に残りました。人のため、皆のために活動している人が日本にはたくさんいると知ったとき、その人達はどのような思いで活動しているのか不思議に思いました。私も今将来の夢があり、それに向かって頑張っています。それが人のためになるかはわからないけれど、自分にできることは何百個何千個とあるので、一つひとつ、辛いことや悲しいことがあるかもしれないけれど、自分の夢のため皆のために精一杯頑張ろうと思います。

今月から後期が始まり、中学 1 年生としての生活も残り半年間となりました。この節目を機会に、前期の生活や学習を振り返り、今後の取組に活かしてほしいと思います。また、どのようなことができるようになりたいかを考えて、後期の目標を立てて過ごすようにしましょう。

